



第 111 号 2018 年 10 月 23 日発行 島田療育センター支援部ピコピコルーム

<https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/intro/pikopiko.html>



◆ マジカルトイボックス参加報告 ◆

7月14日マジカルトイボックスに参加して来ました。会場には色々な事業所の展示や作製体験コーナー、スイッチの販売がありました。島田療育センターピコピコルームに興味を持ってくださる方もおり、その中で一番人気はベイマックスでした。ご自分でスイッチを動かし楽しんで頂きました。



展示されているもので興味深かったのは、お金をかけずに感覚刺激を行うおもちゃです。

ピコピコで取り扱っている物とは違いがありますが、病棟スタッフとしてはそのアイデアが凄いと感心するものもあり、私も作ってみたいと思いました。

その他、TANO で遊んで下さる方や、Wii U でマリオを楽しんで下さった方もいました。スイッチで動くおもちゃなど、病棟の利用者様に楽しんで頂けるものも沢山展示・販売されていたので勉強になりました。(6病棟 越後屋)



◆ わいわい祭り 2018 ◆

今年のわいわい祭りでも、ピコピコルーム委員会から出展をさせていただきました。PT室をお借りして、プリクラとゲームの展示を行いました。

大人気！プリクラコーナー

プリクラは iPad を使用して写真撮影・編集し、シールに印刷するものでした。ゲームセンターのプリクラ同様、フレームやスタンプ、文字などを入れて楽しんでいただきました。混んでしまうことを考慮して短い時間での編集をお願いしましたが、友達同士相談しながら和気あいあいと編集するお子様もたくさんいらっしゃいました。中にはプリクラを撮ったことがない、iPad の操作が分からないといった方もいましたが、スタッフからアドバイスをすることで皆さま素敵な写真になっていました。フレームやスタンプでかわいらしく装飾し、「わいわい祭り」の文字を入れたりなどのアドバイスをさせていただきました。特に大きなトラブルもなく、延べ 90 組程度の皆さんにプリクラシールをお渡しすることができました。



誰でも楽しめるゲームやボランティアの展示も

ゲームコーナーでは、ニンテンドーWii の“太鼓の達人”と“マリオメーカー”の2つを用意しました。太鼓の達人は、パチを使い音楽に合わせて演奏します。スクリーンに映し出された大迫力の映像を見ながら行いました。ご自身で叩いたり、親御さんと一緒に叩いたり、好きな音楽を選んで聴いてみたり…皆さまそれぞれのスタイルでゲームを楽しまれていました。



マリオメーカーでは、ボタン1つの簡単操作できるコースを用意しました。ボタンはビックマックのスイッチを使い、小さなボタンが押しにくい方でも楽しまれていました。マリオ大好きなお子様から、普段ゲームをする機会のない方々まで、ワンクリックでできるマリオに皆さま夢中になっていました。



PT室にはピコピコ以外の展示もたくさんあり、大いに盛り上がっていました。このようにできたのも利用者様やボランティアの方、職員の皆さまのご協力のおかげです。来年も頑張ってみますのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。（理学療法士 中村 / 作業療法士 福島）

ピコピコルームについて

島田療育センターピコピコルームとは？

「ピコピコルーム」は、島田療育センターの利用者（入所・外来）の皆様方が、パソコンやタブレットなどのIT機器やスイッチ、ソフトを利用して、興味を拡げたり、遊んだり、コミュニケーションの道具として活用を進めるための部屋で、各部署からメンバーを集めた委員会形式で運営しています。